

令和7年度

果樹試験場かき・もも研究所成果発表会

果樹試験場かき・もも研究所で実施した柿・桃の研究成果を生産者の皆様にお伝えします

【日時】 令和8年2月24日（火） 13:30～16:30

【場所】 那賀振興局三階大会議室（岩出市高塚209）

研究成果

1. カキ炭疽病の効率的防除対策の確立
主任研究員 大谷洋子
2. クビアカツヤカミキリに対する各種薬剤の殺卵効果
主査研究員 弘岡拓人
3. 極早生渋ガキ「中谷早生」の早期軟化に対する軟化抑制処理の効果
副主査研究員 岡橋卓朗

トピックス

1. AIによる渋柿の軟化判別の試み
主任研究員 熊本昌平
2. カイガラムシ類ふ化幼虫の発生消長と防除薬剤の効果について
主査研究員 貴志 学
3. 指輪型音響振動装置を用いたモモの適期収穫技術の開発
研究員 田村優佳

技術解説

1. モモの水浸状果肉褐変症（みつ症）について
主査研究員 古田貴裕

参加をご希望の方は令和8年2月16日（月）までに裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、メールもしくはFAXでお申し込みください。
（参加費無料・先着50名）

[主催]
和歌山県

お問い合わせ先： 和歌山県果樹試験場かき・もも研究所
〒649-6531 紀の川市粉河3336
TEL:0736-73-2274 FAX:0736-73-4690
メール e0703071@pref.wakayama.lg.jp